

激甚災害対策要覧(案)

銀嶺幼稚園

地震三原則		○その場に合った身の安全 ○すばやく火の始末 ○周囲の人々との助け合い				
時間空間別		保 育 中			在宅中	外室・休日中
係長	携帯品(*)	園内	園外	バス運行中		
安全主任○ 園長●	ヘルメット 手袋 フラッシュランプ 携帯電話	●状況把握、警察消防との連携 ●被害状況、外傷者の把握 ◎救護活動の応援を求める ◎保護者の到着が遅く、その間医師の手当てを要する負傷児については、園長の判断で最善の方法を図る ●避難所移送を指揮する ●残留児、避難者対策を立てる ◎教職員招集日、保育再開時期を定め、連絡方法を図る	◎(同行)担任教諭へ指示し安全な避難場所へ移動させる ●(在園)救護隊又は連絡員を出す	○(バス)バス運行者の意見を聞いて、安全な避難場所へ移す ○(園)保護者に状況を伝え引き取り方について指示する ○所在、状況を速やかに入手し適切な処置を指示する	○可能な限り速やかに登園する ○教職員、警察消防署との連絡を取る ○(登園不可能な場合、時間)電話等で在園する者と連絡を取り指示する。	○所在連絡方法を副園長・教頭に知らせておく ○教職員の連絡先を常に把握しておく ○発生後直ちに登園に努める
副園長● 総務◆	ヘルメット 手袋 ホイッスル ラジオ 拡声器 メモ用紙 サインペン ガムテープ 各自携帯電話	●通園方法の確保、情報収集に努める ●食料、医薬品の確保を指示する ●水源、電源確保責任を指示する ◇救護隊の指揮、教務重要品の確保 ◇被災状況を記録する ◇園長代行 ◆ガス元栓遮断 ◆事務局重要品(印鑑他)の確保	●(同行)担任教諭を指示し、園児の安全を図る ●園外児とスタッフの所在、行動状況の把握に努める ◇(在園)救護隊を指揮する ◆状況により救護隊を派遣するなどの処置を園長に具申する	○バス運行者、担任の意見を聞いて、避難方法を指示する ○状況により救護に当たり、応援を求める	○我が身と家族の安全を図る ○自宅周辺の状況により登園又は園長他との連絡を試みる ○不可能なときは自宅待機する ○教職員の安否と状況を把握するよう努める	○園長と連絡が取れる方法を確保しておく ○発生後直ちに登園に努める
養護△ 安全▲	ヘルメット 手袋 救護品(セット) バール 消火器 ドライバー ハンマー レンチ 各自携帯電話	△我が身の安全と動ける準備 ▲ガス元栓遮断確認 △救護活動(救護隊員始動) ▲消火活動 ▲水源燃料確保 △給食活動(リストは別につくる) ▲電源(2台)の照明 通信装置、水源への接続 ▲飲料水の確保と雑用水の配置	△担任教諭に協力する ▲園児の安全を第一に図り、帰園の方法を教諭に助言する	○安全な所に停車し、状況により最寄の安全な場所へ避難誘導し、救護に当たる ○安全なルートがあれば、園へ戻るよう誘導する ○移動困難と判断した場合は、車両を道路の片側に停車し、園と連絡をとり対策を練る	○我が身と家族の安全を図る ○自宅周辺の状況により登園又は園長、教頭との交信を試みる。 ○不可能なときは自宅待機する ○近隣の人々と協力して救護活動や情報収集に努める	○園長と連絡が取れる方法を確保しておく ○自宅の様子を確かめてから登園又は連絡を取るよう努める
主任 及び 担任教諭	ヘルメット 園児名簿 ホイッスル フラッシュランプ はさみ 手袋 救急品(携帯用) 筆記用具 メモ用紙 各自携帯電話	○園児の安全を図る ○安全なところへ誘導落ち着かせる ○外傷者の発見、救護の求め ○保護者への引渡し記録する ○残留児の食事寝所を確保する ○広域避難所へ引き渡した園児氏名、住所を知らせ、担当者の確認印を受ける ○十分身支度の上、水や食料などを準備して帰宅する	○状況により帰園又は避難する ○園児の安全を図り、負傷者の救護、応援を求める ○二次被災しないようより安全な場所へ移る	○バス運行者の指示により園児の安全を第一に図り、より安全な場所へ避難する ○安全なルートをたどり、園へ戻るよう引率する(バス添乗員)	○情報収集に努め、登園が不可能な場合は自宅待機する ○可能な限り園児の安否を把握する ○被災、避難した場合は、一般通信手段の回復を待って様子を幼稚園に知らせよう試みる ○可能な限り登園できる準備を整えておく	○園長と連絡が取れる方法を確保しておく ○自宅の様子を確かめてから登園又は他の教職員との連絡に努める ○テレビ、ラジオ等により情報を把握する
保護者	ヘルメット 防災頭巾 携帯電話	○我が子及び委託されている子を引き取り、帰宅する ○より安全な避難場所を知り、引き取りに行く ○帰宅前に知り得た情報を園に伝える ○可能と思われる人は、救護活動に参加する ○負傷している園児については、手当てを施す ○保護者に引渡すまでの間に医師の手当てを要する場合は他へ移送する場合がある	○避難先へ園からの情報を基に我が子及び依頼された子を引き取りに行く ○園児が園に戻るのを待って、状況により引き取りに行く	○幼稚園と連絡をとり、情報入手する ○発生時刻と状況に応じ、運行中であればバスが待機している場所へ向かう ○その他の場合は、最寄の避難所、又は幼稚園へ引き取りに向かう ○乗車以前であれば幼稚園で引き取り帰宅する	○家族の安全を第一に考え、状況により避難、家族や近隣の人々の救護活動に参加する ○被災状況等を幼稚園又は担任教諭に知らせよう努める ○被災、避難した場合は、一般通信手段の回復を待って状況を幼稚園に知らせよう努める	○常に連絡が取れる方法を確保しておく ○可能な限り被災の状況を園に知らせる ○外出先で移動不可能な場合は、自宅、園、など連絡のとれるところへその様子を知らせる
在園児	防災頭巾 靴	○安全な所へ身を隠す(習慣化する) ○教師の指示で避難する(防災頭巾を身に付ける・靴を必ず履く) ○保護者の到着を待って帰宅する ○園長の指示で避難所へ移る	○担任教諭の指示で安全なところに避難する	○バス運行者の指示でバス添乗員が引率し、安全なところに避難する(送迎中)	○親又は代行者の責任下におかれ、身の安全を第一に図られる ○安全を確認して親と共に登園する	○帰宅して親又は代行者の保護下におかれる

(\*)通常より準備し、練習時には実際に使用すること

銀嶺幼稚園の広域避難場所→大口台小学校